

# 2017 年度 センター試験 英語筆記（本試験） 分析

## 全体概況

試験時間 80 分

大問数・解答数	大問数：6 題	解答数：55 問
難易度の変化（対昨年）	○ 難化 ○ やや難化 ● 変化なし ○ やや易化 ○ 易化	
問題の分量（対策年）	○ 増加 ● 変化なし ○ 減少	
出題分野の変化	○ あり ● なし	
出題形式の変化	○ あり ● なし	
新傾向の問題	○ あり ● なし	
<p><b>総評</b>                  大問数、出題数に変化はなく、出題分野・出題形式も昨年と同様である。配点については、例年通り、読解問題の比重が非常に高く(144 点 / 200 点)、語彙力や素早い処理能力が必要とされた。                  難易度については、大問ごとに解きにくい問題があるものの、そのような問題は少数であり、全体の難易度に影響を与えるほどではないこと、第 5 問がやや難化した一方で、第 4 問がやや簡単になったこと、という 2 点を考慮し、全体として「変化なし」とした。</p>		

## 大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	発音・アクセント	14 点	昨年と同様、発音問題が 3 問、アクセント問題が 4 問という出題である。出題された単語の中にやや難しいものが含まれていたが、第 1 問全体としては難易度に変化はなかった。
第 2 問	文法・語法・会話	44 点	A が空所補充(四択)問題、B が語句整序問題、C が応答文の完成問題という昨年と同じ出題であった。語句整序問題の中に文構造がとりにくく、やや難しいものがあった。
第 3 問	会話・文脈把握 語数 A. 100 語 B. 370 語 C. 450 語	41 点	A が対話文の空所補充問題、B が不要文指摘問題、C が意見の要約(ディスカッション)問題という昨年と同じ出題であった。C の問題の一部にやや難易度の高い問題があった。
第 4 問	資料読解 語数 A. 499 語 B. 125 語	35 点	昨年と同様、情報の読み取りが出題された。出題形式に変化がなく、ほとんどの問題で解答根拠を探しやすかったため、難易度はやや下がったと言える。
第 5 問	長文読解 語数 655 語	30 点	昨年と同様、物語文が出題された。物語の設定が「目が覚めたら猫になっていた」という突飛なものであったので読みにくいと感じた人もいただろう。また、解答根拠を探すのが難しい問題がいくつか見られた。
第 6 問	長文読解 語数 593 語	36 点	「友情」を扱った文章が出題された。語数は昨年より 50 語ほど多くなっているものの、英文・設問共に読み易く、昨年同様、解き易いものとなっている。